



みなさんはこれまで、毎朝の検温による体調管理やマスクの着用、石けんでの丁寧な手洗いや手指の消毒、人との身体的距離をとること等、一人一人ができる感染症対策にしっかり取り組んできました。新たな感染症を防ぐ手立てとして、12歳以上のみなさんにもワクチン接種が可能となっています。

ワクチンの接種は強制されるものではありません。正しい知識を知り、保護者の方と相談してみてください。
(12～15歳の接種においては、原則、保護者の同伴が必要となります。)

ワクチン接種も
感染症対策の一つ
です。

ワクチン接種について知ろう

***メリット・デメリットを知り、家族みんなでワクチン接種について考えてみましょう。**

ワクチン接種を受けると、体の中に新型コロナウイルスとたたかう仕組み（免疫^{めんえき}）ができて、実際にウイルスが体に入ってきたときにすぐにたたかえるように準備ができ、ウイルスを倒しやすくなります。また、ワクチンで使われている成分（mRNA）は、一般的に、体内に入り数分から数日で分解されるといわれており、長期的な影響は考え難く、過度に心配する必要は無いといわれています。

メリット

○ウイルスが体内に入っても（感染）、約94～95%の確率で症状が現れること（発症^{はっしやう}）を予防することができます。このことは、同居する家族や日常的に接する友人にうつさない（感染させない）効果も期待できます。

○発症を予防することで、発症した後に起こるだるさや疲れた感覚が続くこと、味がわからない・集中できない等の症状（後遺症^{こういしやう}）も防ぐことができます。
(*発症した場合、軽症でも長期間にわたって後遺症が残る可能性があります。)

○発症したとしても、重症化^{じゆうしやうか}を防ぐことが期待できます。



デメリット

○まれに接種後、すぐに次のような症状が起こることがあります。

血管迷走神経反射 ワクチンの成分等とは関係なく、ワクチンを受けることに対する緊張や痛みをきっかけに、血の気がひいて立ちくらみがしたり、気を失ったりすることがあります。横になって休めば、自然に治ります。

アナフィラキシー 重いアレルギー反応で、じんましんや息苦しさなどの症状が出ます。

○接種後、数日以内に次のような症状が起こることがあります。

注射した部分の痛みやはれ、 **疲れた感じ、** **頭痛、** **筋肉痛、** **寒気、** **発熱等**
が起こることがありますが、いずれも2～3日で自然とよくなります。



胸のあたりの痛み等が出た場合は、**心筋炎^{しんきんえん}**の可能性があるので、すぐに周りの大人に伝えましょう。

高知県新型コロナワクチン
専用相談窓口 ☎088-823-9889

ワクチンを受ける・受けないの判断は、体質等様々な理由により一人一人の意思が尊重されます。

一人一人が自分の体調や体質を考えて、接種について判断してください。

インターネット上の書き込みなど、不確かな情報ではなく、厚生労働省等の公的機関から出されている情報を基に判断するようし、それぞれの人の判断に対して、差別や偏見^{へんけん}を持たないように、正しい知識を身につけましょう。ワクチンの接種に関わらず、2学期も手洗い・手指の消毒、マスクの着用、換気、人と人との距離の確保など、感染症予防対策を続けましょう。

